

# 岩手県感染症週報

平成17年第46週（11月14日～11月20日）

岩手県結核 感染症情報センター

## 第46週の概要

- 1 類感染症
- 2 類感染症
- 3 類感染症

・患者発生の報告はありませんでした。

- 4 類感染症

- 5 類感染症（全数把握対象疾患）

・患者発生の報告はありませんでした。

### 5 類感染症（定点把握対象疾患）

・感染性胃腸炎は、ここ数週盛岡地区を中心に患者が多い状態が続いていましたが、この週には各地で患者が増加し前週を大きく上回りました。この週にもっとも患者数が多いのは北上地区で、定点当たり患者数は21.3人と警報値（同患者数20.0人）を超えています。

この時期の感染性胃腸炎はノロウイルスによるものがほとんどで、いわゆる「おなかにくる風邪」と言われています。症状は36時間程度の潜伏期間の後、嘔気、嘔吐、下痢、38 以下の発熱が主な症状です。患者の吐物などから感染することも多く、吐物を処理する場合は、薄めた塩素系漂白剤（1リットルの水に対してキャップ1杯程度約20CCの漂白剤を入れる）を十分にしめした紙タオルで覆った後、10分間以上放置するなどの消毒措置が必要です。

・インフルエンザは、盛岡地区で患者が増加しているほか、この週には一関、二戸地区からも患者発生の報告がありました。今シーズンは例年よりも早く流行が開始するものと考えられますので、ワクチンの接種を希望される方は早めに済ませることが望まれます。

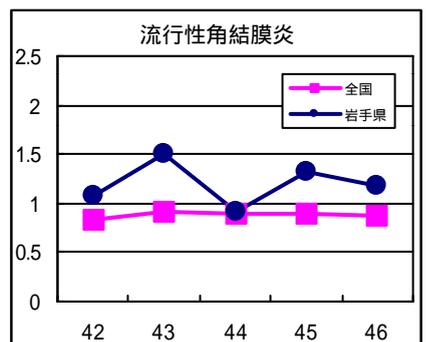
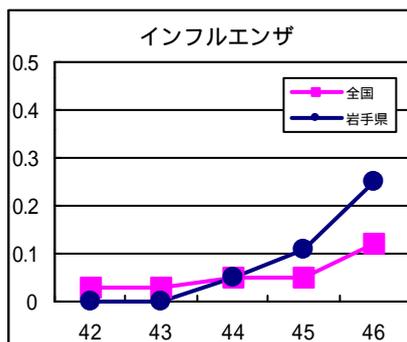
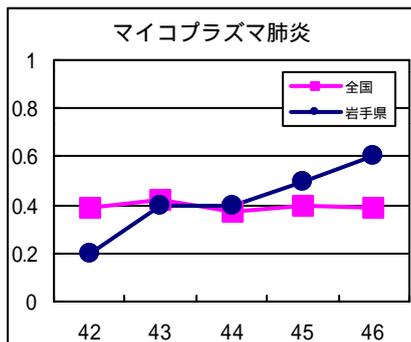
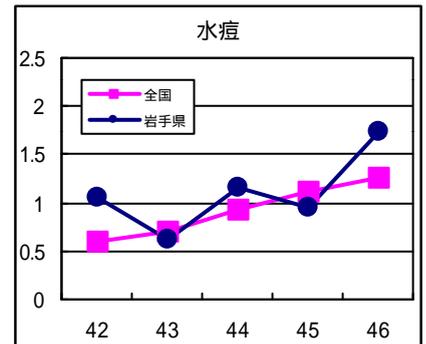
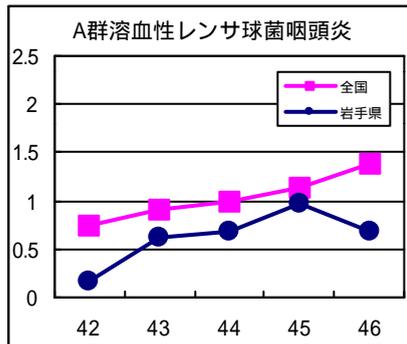
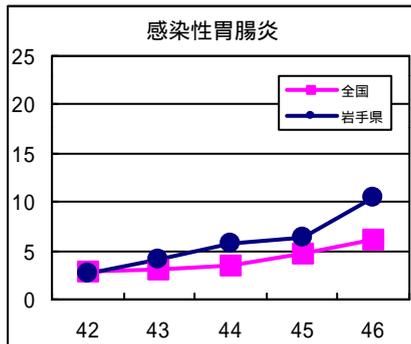
・水痘は、この週には久慈地区で患者が急増し、定点当たりの患者数が4.5人と注意報値（同患者数4.0人）を超えました。

・百日咳は、全週に引き続き久慈地区から1例の患者発生の報告がありました。

・マイコプラズマ肺炎が増加しています。

## 最近の注目疾患（定点あたり患者数の過去5週の動き）

（疾患によって目盛りのスケールが違うことに注意）



定点把握対象疾患（過去5週の動き）

（定点あたり患者数）

疾病名	地域	週					流行傾向	
		42	43	44	45	46		
インフルエンザ	岩手県	0	0	0.05	0.11	0.25	↗	
	全国	0.03	0.03	0.05	0.05	0.12		
咽頭結膜熱	岩手県	0	0	0	0.05	0	→	
	全国	0.16	0.18	0.18	0.23	0.23		
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	岩手県	0.16	0.63	0.68	0.97	0.69	→	
	全国	0.74	0.9	1	1.14	1.39		
感染性胃腸炎	岩手県	2.76	4	5.76	6.36	10.49	↗	
	全国	2.86	3.14	3.54	4.66	6.13		
水痘	岩手県	1.05	0.63	1.16	0.95	1.74	↗	
	全国	0.6	0.7	0.92	1.12	1.26		
手足口病	岩手県	0.39	0.21	0.47	0.41	0.33	↘	
	全国	0.37	0.4	0.35	0.32	0.31		
伝染性紅斑	岩手県	0.11	0.11	0.08	0.05	0.1	→	
	全国	0.13	0.13	0.15	0.15	0.14		
突発性発疹	岩手県	0.26	0.26	0.29	0.38	0.38	→	
	全国	0.66	0.65	0.62	0.64	0.63		
百日咳	岩手県	0	0	0	0.03	0.03	→	
	全国	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01		
風疹	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0	0	0	0	0		
ヘルパンギーナ	岩手県	0.32	0.45	0.18	0.33	0.36	→	
	全国	0.24	0.18	0.14	0.13	0.11		
麻疹（成人麻疹を除く）	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0	0	0	0	0		
流行性耳下腺炎	岩手県	0.53	0.39	0.29	0.59	0.74	→	
	全国	1.24	1.15	1.18	1.34	1.3		
急性出血性結膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.02	0.02	0.03	0.02	0.01		
流行性角結膜炎	岩手県	1.08	1.5	0.92	1.33	1.17	→	
	全国	0.84	0.92	0.9	0.9	0.88		
RSウイルス感染症（患者報告数）	岩手県	0	0	0	0	1	→	
	全国	279	412	444				
細菌性髄膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.01	0.01	0.01	0.04	0.01		
無菌性髄膜炎	岩手県	0	0	0	0.05	0	→	
	全国	0.02	0.03	0.03	0.02	0.03		
マイコプラズマ肺炎	岩手県	0.2	0.4	0.4	0.5	0.6	↗	
	全国	0.39	0.42	0.37	0.4	0.39		
クラミジア肺炎（オウム病を除く）	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.02	0.01	0.01	0.02	0.01		
成人麻疹	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0	0	0	0	0		

【流行傾向の見方】

- 無印：ほとんど患者が発生していません
- ：患者が発生しています
- ↗：警報値を超えた地区が1～2地区あります
- ↘：多くの地区で警報値を超えています

全数把握対象疾患（過去5週の動き）									(患者発生数)	
分類	疾病名	岩手県					累計	全国		
		(週) 42	43	44	45	46		46	累計	
一類 感染症	エボラ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0	
	クリミア・コンゴ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0	
	ペスト	0	0	0	0	0	0	0	0	
	マールブルグ病	0	0	0	0	0	0	0	0	
	ラッサ熱	0	0	0	0	0	0	0	0	
二類 感染症	コレラ	0	0	0	0	0	0	0	47	
	細菌性赤痢	0	0	0	0	0	2	5	509	
	腸チフス	0	0	0	0	0	0	0	45	
	パラチフス	0	0	0	0	0	0	0	16	
	急性灰白髄炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
	ジフテリア	0	0	0	0	0	0	0	0	
三類	腸管出血性大腸菌感染症	0	0	0	0	0	83	50	3364	
四、 五類 感染症	アメーバ赤痢	0	0	0	0	0	2	6	618	
	エキノкокクス症	0	0	0	0	0	0	0	15	
	黄熱	0	0	0	0	0	0	0	0	
	オウム病	0	0	0	0	0	1	0	31	
	回帰熱	0	0	0	0	0	0	0	0	
	急性ウイルス性肝炎	0	0	0	0	0	3	3	256	
	Q熱	0	0	0	0	0	0	0	8	
	狂犬病	0	0	0	0	0	0	0	0	
	クリプトスポリジウム症	0	0	0	0	0	0	0	8	
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	0	0	0	3	3	138	
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	0	0	0	1	0	51	
	後天性免疫不全症候群	0	0	0	0	0	4	8	1024	
	コクシジオイデス症	0	0	0	0	0	0	0	3	
	ジアルジア症	0	0	0	0	0	0	4	71	
	腎症候性出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0	
	髄膜炎菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	10	
	先天性風疹症候群	0	0	0	0	0	0	0	1	
	炭疽	0	0	0	0	0	0	0	0	
	ツツガムシ病	1	0	1	0	0	7	13	163	
	デング熱	0	0	0	0	0	0	2	69	
	日本紅斑熱	0	0	0	0	0	0	1	60	
	日本脳炎	0	0	0	0	0	0	0	6	
	乳児ボツリヌス症	0	0	0	0	0	0	0	1	
	梅毒	0	0	0	0	0	3	5	474	
	破傷風	0	0	0	0	0	1	2	100	
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	59	
	ハンタウイルス肺症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	
	Bウイルス病	0	0	0	0	0	0	0	0	
	ブルセラ症	0	0	0	0	0	0	0	1	
	発疹チフス	0	0	0	0	0	0	0	0	
	マラリア	0	0	0	0	0	0	0	63	
	ライム病	0	0	0	0	0	0	0	7	
	レジオネラ症	1	0	0	0	0	1	5	243	
ウエストナイル熱	0	0	0	0	0	0	0	0		

昨年11月5日に感染症法が改正されたことに伴い、調査対象疾患が一部改正されましたが、本週報では当面の間、改正前の分類による情報をお届けしております。  
できるだけ早い時期に、新しい分類による情報をお届けできるよう準備していますので、ご了承ください。

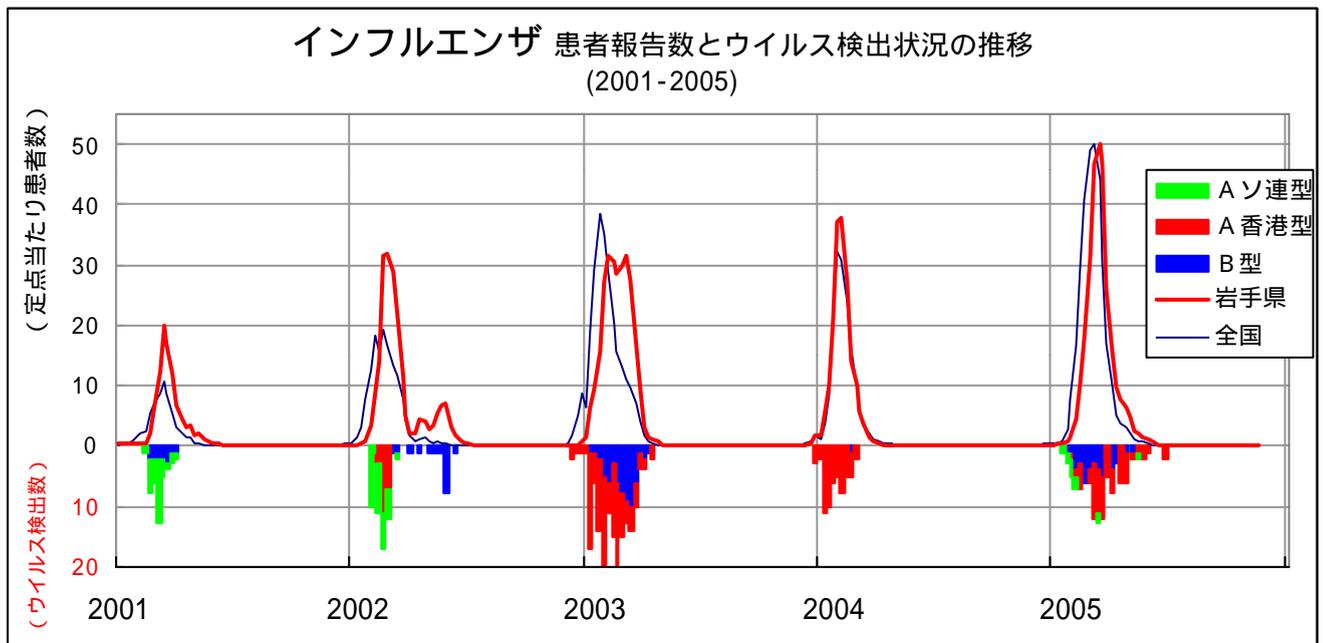
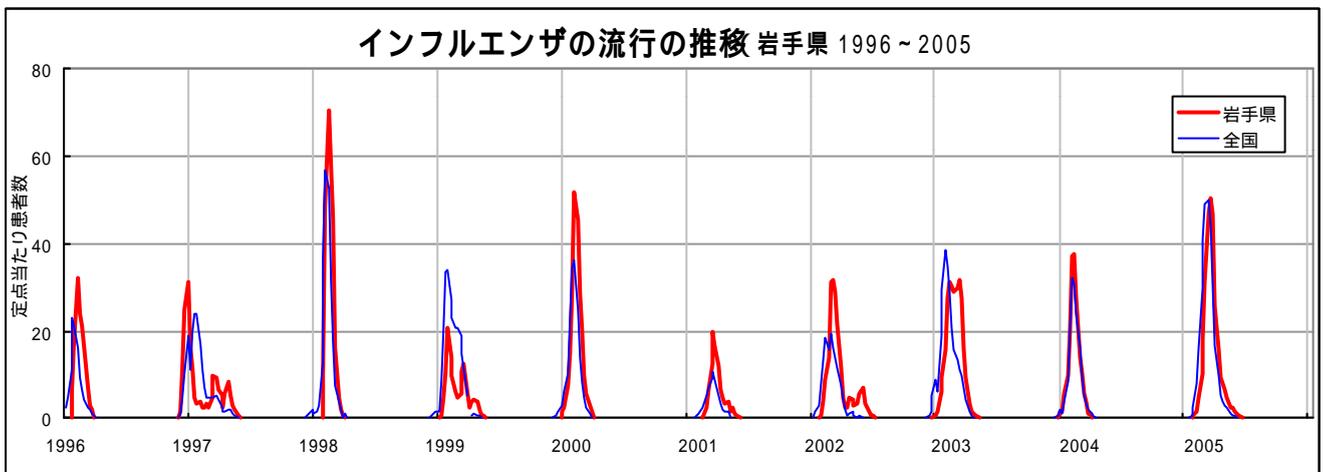
**今注目の感染症**

**インフルエンザ**

インフルエンザは、例年、12月頃から患者数が増え始め、2～3月が流行のピークであるが、今シーズンは、盛岡地区では、11月に集団感染による学校閉鎖措置がとられた小学校もあり、例年よりも早い流行状況となっている。

今後の流行状況はまだ不明であるが、65歳以上の高齢者の方や気管支喘息や慢性心不全などの基礎疾患のある方、1歳以上の幼児などは早めに予防接種を受けることが大切である。

昨シーズンは、A香港型、Aソ連型、B型の3種類のインフルエンザウイルスが同時に流行したが、今シーズンのウイルスの動向が注目される。



## 病原体検出情報

- ・溶レン菌咽頭炎の患者の咽頭拭い液からA群溶レン菌血清型T2を1例分離検出しました。

## 医療機関からの情報

盛岡地区の医療機関（小児科）から

- ・インフルエンザが保育園で発生しているようだ。今シーズン初めての症例。
- ・ノロウイルスによる感染性胃腸炎が爆発的に流行している。

## 集団感染情報

インフルエンザ様疾患による学校閉鎖措置状況

- ・滝沢村立篠木小学校3学年1学級 在籍数35名 罹患者数18名 うち欠席者数16名  
11/21 1校時～11/22

感染性胃腸炎の集団発生

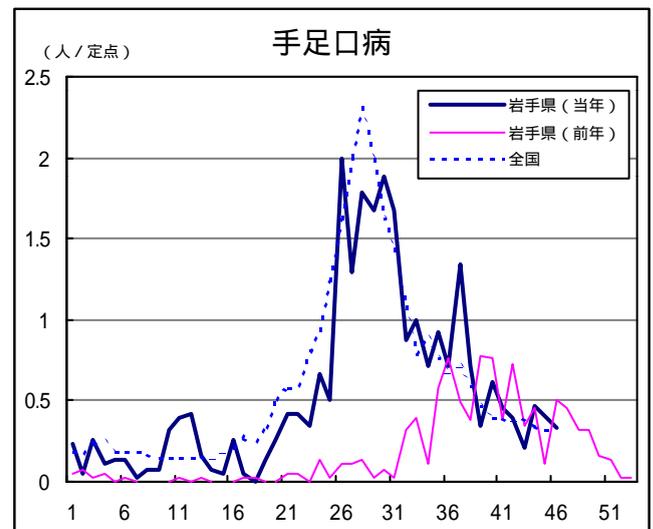
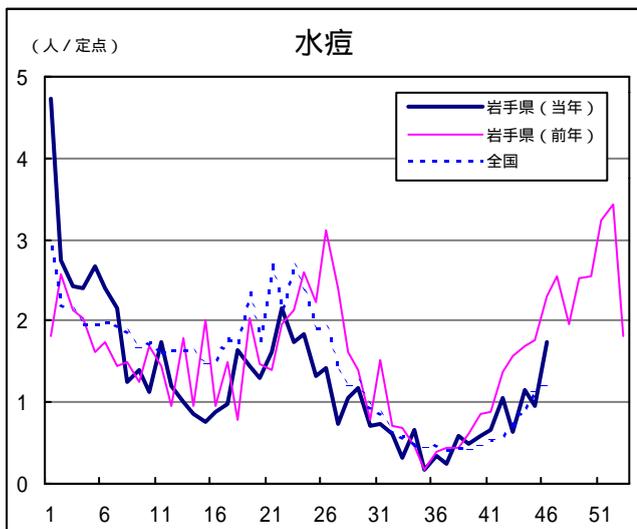
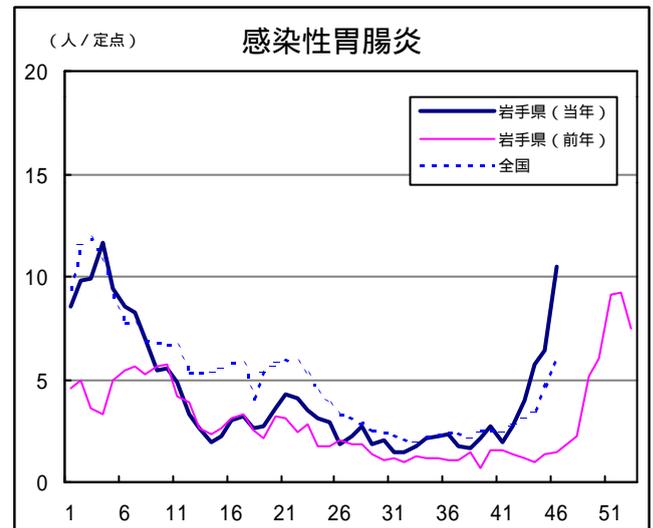
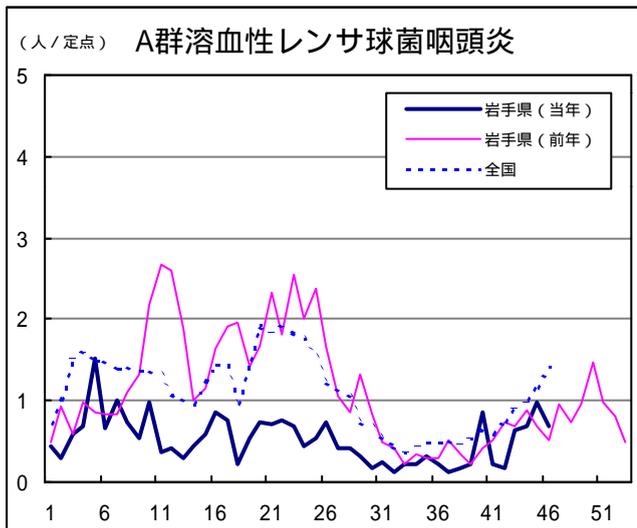
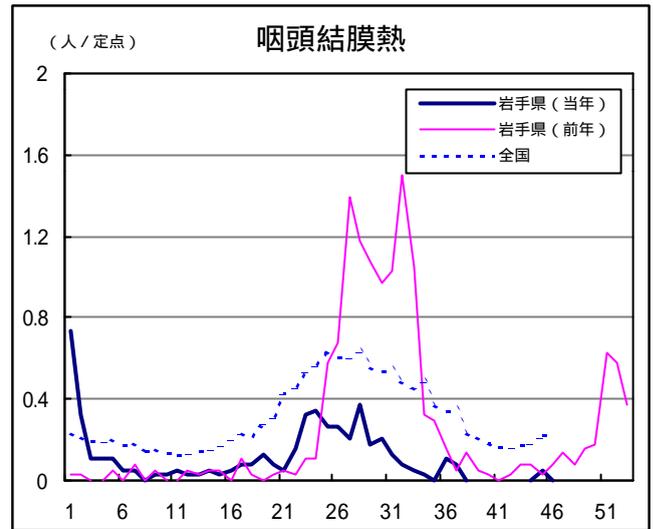
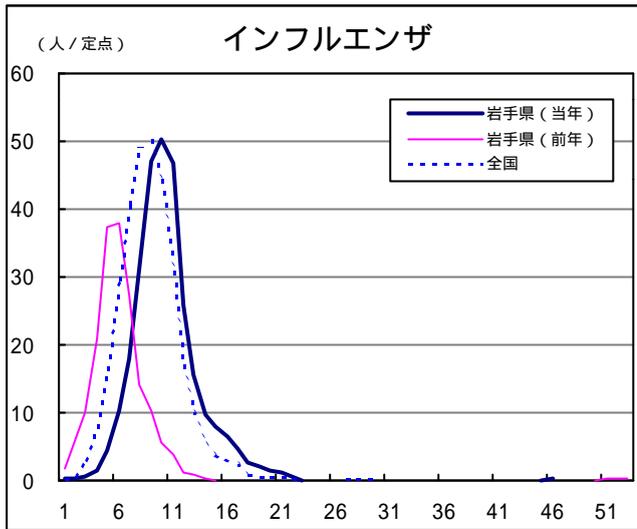
- 1 施設等  
北上市内の障害者福祉施設（入所者80名、職員42名）
- 2 患者の状況
  - ・11/21（月）に北上市内の医療機関から、18日（金）に施設入所者8名が下痢・嘔吐を訴え受診したとの情報提供
  - ・同日、北上保健所が調査を実施し、11/11頃から21までに入所者19名、職員7名に症状（下痢、嘔吐等）があったことを確認
  - ・その後、24日までに入所者3名の発症を確認
- 3 原因究明等の調査
  - ・環境保健研究センターで糞便検査の結果11/22（火）にノロウイルスを7名中6名から確認
  - ・発症状況等の疫学調査結果から、施設の給食等を原因とする食中毒の可能性は否定
  - ・保健所において、施設に対し手洗い及び消毒の徹底等の二次感染予防対策について指導するとともに感染原因等を調査中

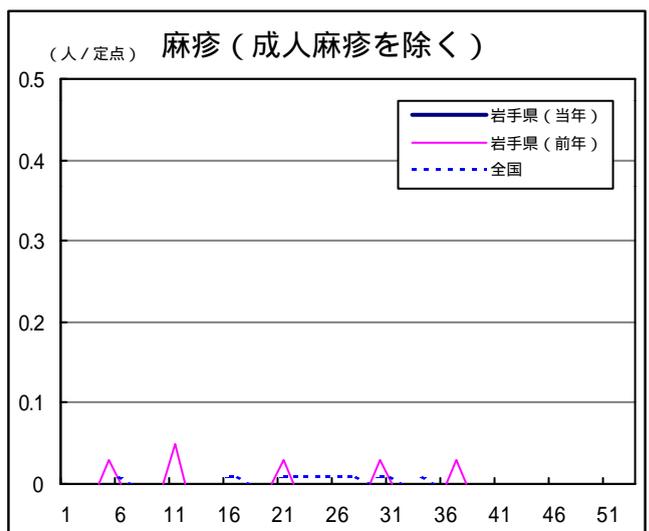
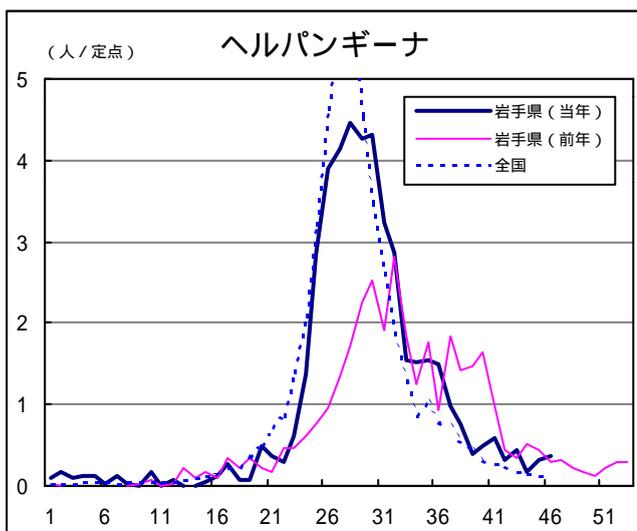
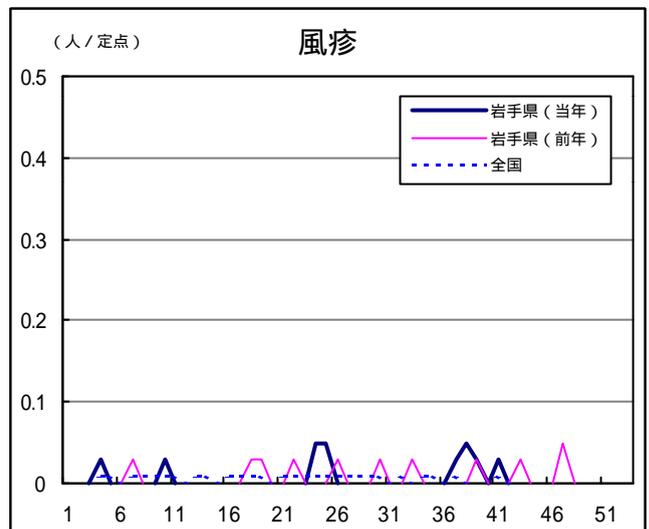
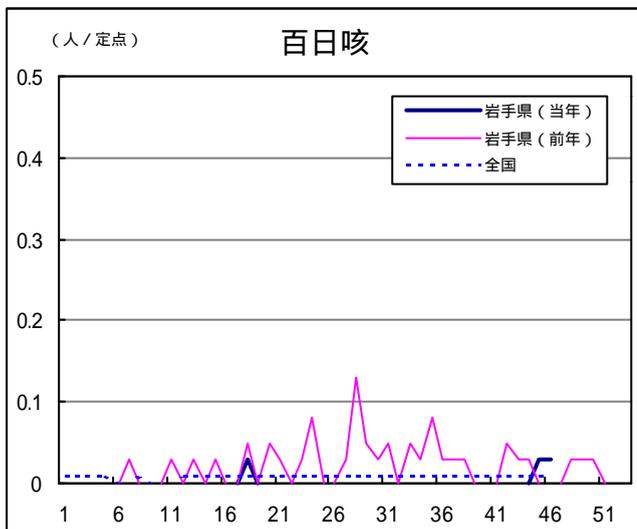
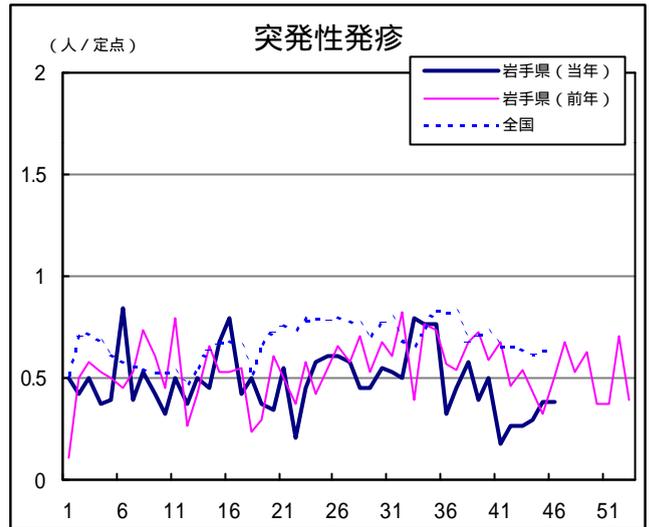
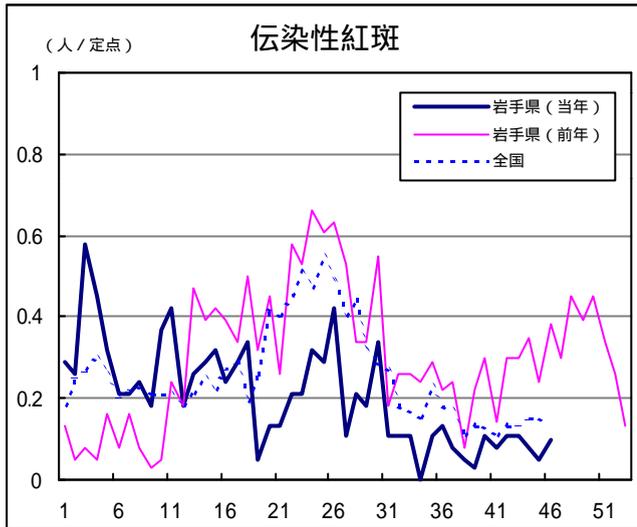
## Q & A

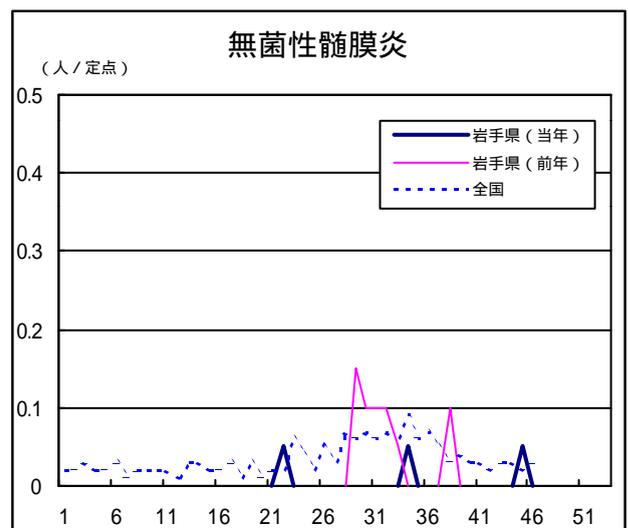
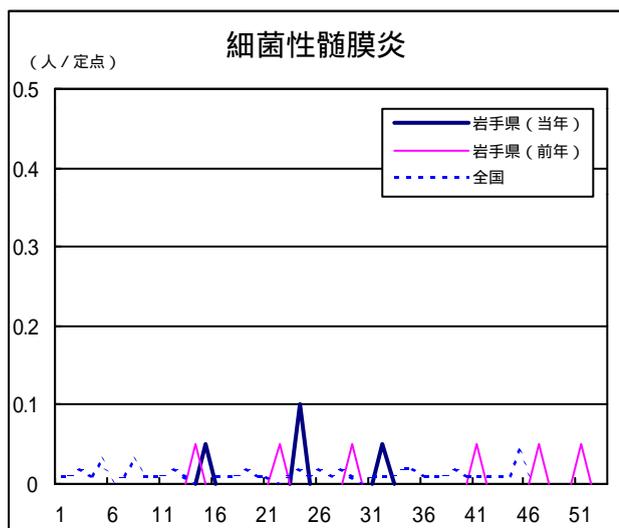
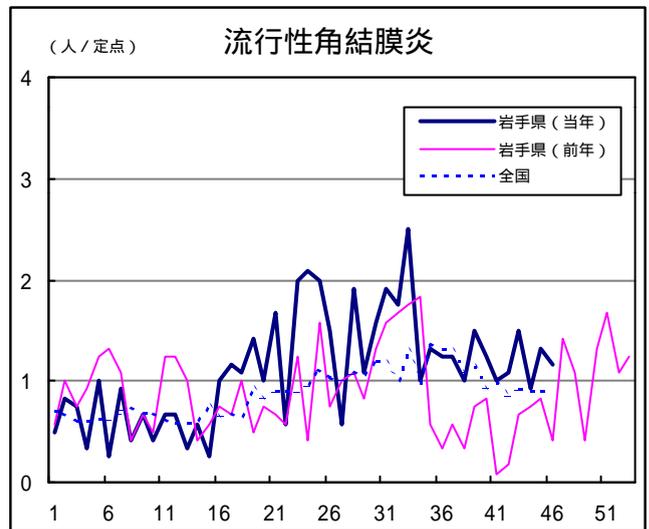
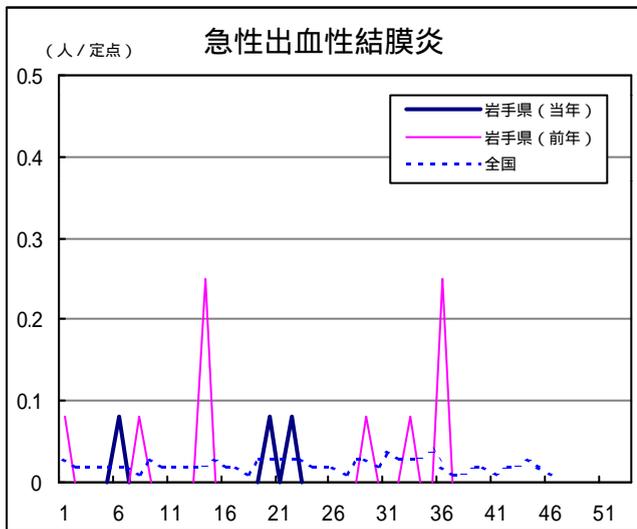
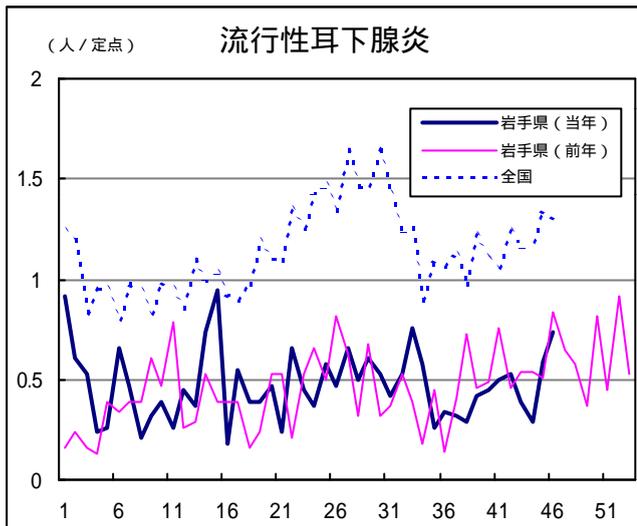
読者の皆様からのご質問にはこの欄でお答えします。

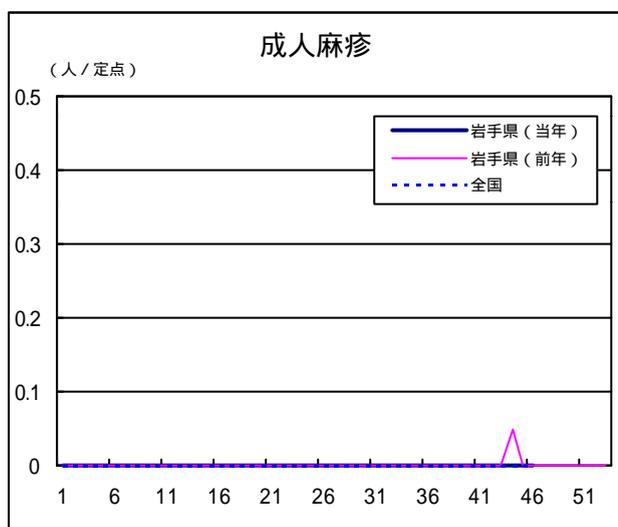
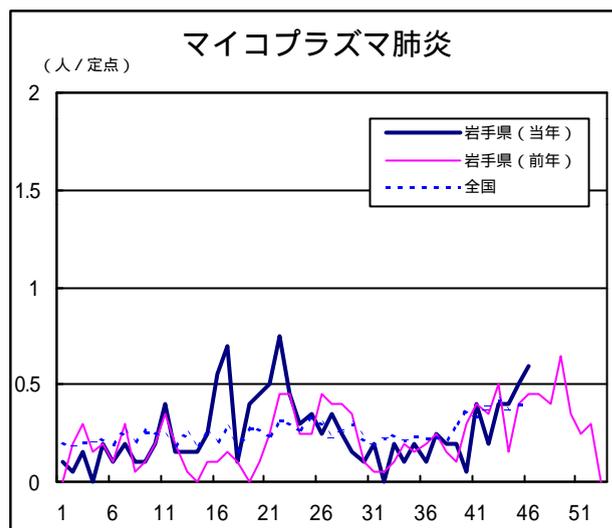
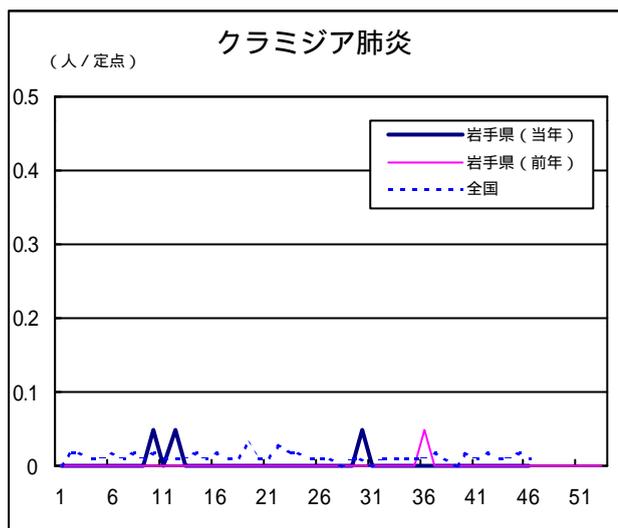
医療機関からの情報や読者の皆様からのご質問は下記の宛先までお寄せください。  
岩手県結核・感染症情報センター（岩手県環境保健研究センター保健科学部内）  
〒020-0852 岩手県盛岡市飯岡新田1-36-1  
TEL:019-656-5669（直通） FAX:019-656-5667  
E-mail: CC0019@pref.iwate.jp

疾病別グラフ（定点あたり患者数の推移）









定点医療機関の数

地区	インフルエンザ	小児科定点	眼科定点	基幹定点
岩手県	63	39	12	20
盛岡	17	11	3	5
花巻	5	3	1	2
北上	5	3	1	2
水沢	7	4	1	2
一関	7	4	1	2
大船渡	6	4	1	1
釜石	5	3	1	2
宮古	5	3	1	1
久慈	3	2	1	1
二戸	3	2	1	2

岩手の感染症情報を毎週メールでお届けする  
**「岩手県感染症情報ウィークリーマガジン」**を配信しています。  
 配信の登録は以下のURLからお願いします。  
<http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/mailmagazine.html>

無料です!!

岩手県感染症週報 平成17年第46週 平成17年11月25日発行  
 監修：岩手県結核・感染症発生動向調査委員会  
 発行：岩手県環境保健研究センター  
 岩手県保健福祉部保健衛生課  
 事務局：岩手県結核・感染症情報センター  
 （岩手県環境保健研究センター保健科学部内）  
 〒020-0852 岩手県盛岡市飯岡新田1-36-1  
 TEL:019-656-5669（直通） FAX:019-656-5667  
 E-mail: CC0019@pref.iwate.jp  
 URL: <http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/>  
 <岩手県結核・感染症情報センター>  
<http://www.pref.iwate.jp/~hp0360/>  
 <岩手県保健福祉部保健衛生課>